

# 実践紹介集（令和6年度）

浜田市まちづくり総合交付金事業（課題解決特別事業）

| 地区 | No. | 事業名                      | 実施団体名          |
|----|-----|--------------------------|----------------|
| 浜田 | 1   | 折居駅 100 周年記念イベント         | 大麻地区まちづくり委員会   |
|    | 2   | 協働の環境保全。～唐鐘川を救うのは唐鐘人だ！～  | とうがねまちづくり推進委員会 |
| 金城 | 3   | 環境美化推進事業                 | 久佐地区まちづくり振興会   |
|    | 4   | 防災暗幕と防火スクリーン設置事業         | 今福まちづくり委員会     |
|    | 5   | 雲城山登山道整備事業               | 雲城まちづくり委員会     |
|    | 6   | 波佐まるごと博物館総合案内看板等作成事業     | 波佐まちづくり委員会     |
|    | 7   | 旧小国小学校体育館通路（渡り廊下）の改善整備   | 小国まちづくり委員会     |
| 旭  | 8   | 四つ葉ふれあい農園                | 今市地区まちづくり推進委員会 |
| 三隅 | 9   | 岡見マップ作成事業 3年目(令和4年度採択事業) | 岡見地区まちづくり推進委員会 |

# 事業報告書（課題解決特別事業）

〔 6 年度採択分 〕

申請団体名：大麻地区まちづくり推進委員会

令和 年度浜田市まちづくり総合交付金 課題解決特別事業 事業報告書

事業名

折居駅 100 周年記念イベント

事業費（予算額）： 370,000 円（まちづくり総合交付金課題解決特別事業：310,000 円）

P

事業の目的（解決を目指す課題）や見込まれる成果

地域内外からの集客を図り、地域の活性化を目的の一つとし、将来的に大麻地域への I ターン U ターンに繋なげ、人口減少の歯止めにしたい、第一弾として折居駅開業 100 周年記念式典を開催し今回の事業は、その第二弾として企画し、主に地域外からの集客を目的としている。

D

事業の概要

- ・大麻地区婦人会による焼き鳥、フランクフルト等の販売
- ・Gallery&Café「FUN」による飲食の販売
- ・道の駅ゆうひパーク三隅による包み焼きピザ、わらび餅等の販売
- ・大麻まちづくり推進委員会による体験コーナー（ピザ窯でピザを焼こう）
- ・COMBO103 によるミニライブ
- ・大麻まちづくりセンターによる納涼の夕べ（灯籠の点灯・花火）
- ・大麻まちづくりセンターによる折居駅と地域の歩みをイメージした映像の放映
- ・来場者に記念品配布（先着 100 名に配布）

C

課題の解決度合（10 段階の自己評価）

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|

上記評価の理由

- ・来場者数 200 人以上（JR 利用者数約 40 人）
- ・来場者の方にイベントを楽しんで頂き、当地区の良さを知って頂くことが出来た。
- ・地域の方にイベントスタッフを募り 3 名参加。スタッフ及び関係機関ともに盛況で良かったと評価頂いた。イベントの目標は概ね達成できたが、本来の事業目的の達成は、今後の取組による。

A

事業の継続、発展に向けて今後取り組むこと（評価を 10 に近づけるために）

納涼の夕べ（灯籠の点灯・花火等）は、来年度以降も継続開催するものであり、規模は縮小することになるが、今回のイベントで関係機関との信頼関係も構築できたことにより、今後お互い連携し地域内外からの集客を図り、地域の活性化を目的の一つとし、将来的に大麻地域への I ターン U ターンに繋なげ、人口減少の歯止めにしたい。



# 事業報告書

(課題解決特別事業)

とうがねまちづくり推進委員会

〔令和 6 年度採択分〕

令和 6 年度浜田市まちづくり総合交付金 課題解決特別事業 事業報告書

事業名

課題解決特別事業 協働の環境保全 唐鐘川を救うのは唐鐘人だ

事業費（予算額）： 989,240 円（まちづくり総合交付金課題解決特別事業：989,240 円）

P

事業の目的（解決を目指す課題）や見込まれる成果

- ・ 唐鐘川の劣悪な環境は唐鐘地区住民の生活環境における最上位課題の解決。
- ・ 住民自らが環境保全への対策を施すことにより町に対する協働意識の醸成。
- ・ 地域課題解決の方法を次世代へ伝え、模範となるために行う事業。

D

事業の概要

唐鐘地区全住民を対象とした町民アンケート結果の生活環境における最も解決すべき課題であがった唐鐘川の環境改善を最上位課題と捉え、住民主体の課題解決策を実施する。

- ・ 中国電力が開発し水質浄化作用が認められた部材「Hi ビーズ」の 埋設を行う。
- ・ 地区住民で構成された有償ボランティア組織「環境保全係」を中心に有償ボランティアを募り作業を行う。
- ・ 唐鐘地区住民へも周知を図り多くの人員との共同作業を通じたつながりづくりの機会をつくり新たな形のまちづくりの手法とする。

C

課題の解決度合（10 段階の自己評価）

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

|  |  |  |   |  |  |  |  |  |  |
|--|--|--|---|--|--|--|--|--|--|
|  |  |  | ○ |  |  |  |  |  |  |
|--|--|--|---|--|--|--|--|--|--|

- ・ 上記評価の理由
- ・ 2 力年計画の事業であり 1 年目であること
- ・ 計画より住民の参画意識が高まっていな  
いと感じられること。
- ・ 作業へ参加する委員の意欲が高いこと踏  
まえ 10/5 段階半分の中の 4 とした。

A

事業の継続、発展に向けて今後取り組む  
こと（評価を 10 に近づけるために）

- ・ 住民の参画意識醸成のため、情報発信、周  
知方法を強化する必要がある。
- Facebook、Instagram 等の SNS を活  
用した周知方法を取り入れたい。



# 事業報告書

(課題解決特別事業)

申請団体名：久佐地区まちづくり振興会

〔令和6年度採択分〕

令和6年度浜田市まちづくり総合交付金 課題解決特別事業 事業報告書

事業名

環境美化推進事業

事業費（予算額）：286,000円（まちづくり総合交付金課題解決特別事業：286,000円）

P

事業の目的（解決を目指す課題）や見込まれる成果

地域の環境美化を目的に植樹した桜の木が『てんぐ巣病』に感染。  
感染拡大及び桜の木の保存を目的に、感染した枝の除去作業及び防除作業。

D

事業の概要

平成12年に久佐若獅子会（現在は解散）が久佐川の沿いに植樹した桜の木に『てんぐ巣病』が発症しており、専門業者に枝の切除・伐採作業を令和6年1月に実施。伐採後は振興会で定期的に肥料散布などを行い、桜の木の回復を促し、地域の方々に楽しんでいただける場所を目指す。（散歩やお花見など）

C

課題の解決度合（10段階の自己評価）

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

|  |  |  |  |  |  |  |   |  |  |
|--|--|--|--|--|--|--|---|--|--|
|  |  |  |  |  |  |  | ○ |  |  |
|--|--|--|--|--|--|--|---|--|--|

・上記評価の理由

『てんぐ巣病』が広がる前に対策が出来たことは良かったが、今後、地域住民への広報や住民参加型の活用方法などの議論が少なかった。

A

事業の継続、発展に向けて今後取り組むこと（評価を10に近づけるために）

桜の木の保全活動にも尽力しつつ地域の方々が散歩や木の下でお花見など、桜の木を中心に広範囲での活用方法を検討したい。（ベンチの設置や周辺を含めた遊歩道整備など）





## 事業報告書

申請団体名：今福まちづくり委員会

〔 令和 6 年度採択分 〕

令和 6 年度浜田市まちづくり総合交付金 課題解決特別事業 事業報告書

事業名

### 防災暗幕と防災スクリーン設置事業

事業費（予算額）： 498,300 円（まちづくり総合交付金課題解決特別事業： 498,300 円）

P

・事業の目的（解決を目指す課題）や見込まれる成果

今福地区では、住民によるサロンや教室・サークル活動が活発に行われているが、記録された動画や写真を見ての課題の検証や研修において、スクリーンや暗幕が無いと、視聴するのに、会員や地域住民は、非常に不自由な環境にある。以上の事由から、第二研修室に「プロジェクタースクリーン」と「防災暗幕」を備えて、会員や地域住民が何時でも簡単に視聴できるようにしたい。

第二研修室は、サークル活動や研修会、子どもの学習指導には、積極的に良く、防災暗幕と防災スクリーンを備える事で、相乗効果が高まり、多くの来館者と使用頻度が增大する。

D

・事業の概要

第二研修室に防災暗幕と防災スクリーンを設置して、パワーポイントと動画によって、今福まちづくりセンターが実施する人権研修等の各種研修会や運営推進委員会議、今福まちづくり委員会の活動報告と検証、今福地区自主防災会の振り返り研修、各サークルやサロン及び今福小学校茶道クラブへ指導研修、また、島根県立大生による夏休み学習会での教育指導等を行なう。

C

・課題の解決度合（10段階の自己評価）

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |   |  |
|--|--|--|--|--|--|--|--|--|---|--|
|  |  |  |  |  |  |  |  |  | ○ |  |
|--|--|--|--|--|--|--|--|--|---|--|

・上記評価の理由

設置と同時に、研修やサークル活動の報告検証に多くの住民が利用参加して、研修等の幅が広がった。

A

・事業の継続、発展に向けて今後取り組むこと（評価を10に近づけるために）

非常に住民の皆さんに喜んで頂いたので、今後は、もっと幅広い年代が、研修やサロンに、活発に利用出来るようにして行きたい。

防災スクリーン



防災暗幕



# 事業報告書

(課題解決特別事業)

申請団体名：雲城まちづくり委員会

〔令和6年度採択分〕

令和6年度浜田市まちづくり総合交付金 課題解決特別事業 事業報告書

事業名 雲城山登山道整備事業

事業費（予算額）：545,820円（まちづくり総合交付金課題解決特別事業：500,000円）

**P** 事業の目的（解決を目指す課題）や見込まれる成果  
例年雲城山登山を実施しているが、年々登山道が傷み、危険と思われる場所も増えてきた。そこで、登山が安全に実施できるよう、登山道の整備を実施したい。  
これにより、多くの人々が雲城山に登り、ふるさとに愛着がもてるようになることを期待する。

**D** 事業の概要  
業者に委託し、登山道の中でも急傾斜で、上り下りが危険である場所に、階段を設置し、安全かつスムーズに上り下りができるように計画した。  
工事に向けた除草作業を8月25日に行い、8月27日の業者に委託した登山道整備が完了した。  
秋の雲城山登山を9月22日（日）に計画し準備を進めたが、当日雨天のため中止となった。  
10月18日の雲城小学校4年生の雲城山登山は、参加者全員、けがもなく、新しく整備した段階した階段を利用しながら、安全で楽しい登山を体験することができた。

**C** 課題の解決度合（10段階の自己評価）  
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10  

|  |  |  |  |  |  |  |   |  |  |
|--|--|--|--|--|--|--|---|--|--|
|  |  |  |  |  |  |  |   |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  | ○ |  |  |

  
・上記評価の理由  
急傾斜地の階段設置は完了し、安全性も高まった。しかし、それ以外にも整備が必要な箇所もあり、継続的な整備が必要である。

**A** 事業の継続、発展に向けて今後取り組むこと（評価を10に近づけるために）  
春と秋の2回、住民を中心とした雲城山登山を計画実施し、また、雲城小学校4年生の遠足コースとしても定着してきた。  
継続的な登山道の整備を進めるとともに、今後より多くの人々が登山できるように、内容や日程（予備日を設定）など、工夫しながら魅力ある登山を計画していきたい。



**事業報告書**  
(課題解決特別事業)

申請団体名：波佐まちづくり委員会

[ 6 年度採択

令和 6 年度浜田市まちづくり総合交付金 課題解決特別事業 事業報告書

事業名

**波佐まるごと博物館総合案内看板等作成事業**

事業費（予算額）：523,160 円（まちづくり総合交付金課題解決特別事業：500,000

P

事業の目的（解決を目指す課題）や見込まれる成果

誰もが観光文化施設に直面した時に、現地のガイドの補完が出来る看板類の整備となった。

D

事業の概要

波佐まるごと博物館 15 施設に案内標識の看板類を整備し、地図、写真、説明文を表記し、QR コードも挿入して、その看板設置箇所毎で、より詳細なデータが入手できるように配慮した。特に、ミュージアムの中心地である金城資料館前に総合案内看板を設置した。市指定史跡の波佐一本松城には、各所に案内地図を挿入し安心して城郭巡りが出来るよう工夫した。

C

課題の解決度合（10 段階の自己評価）

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

|  |  |  |  |  |  |  |  |   |  |  |
|--|--|--|--|--|--|--|--|---|--|--|
|  |  |  |  |  |  |  |  | ○ |  |  |
|--|--|--|--|--|--|--|--|---|--|--|

・上記評価の理由

今回の事業でほぼ満足のいける設置数となった。

A

事業の継続、発展に向けて今後取り組むこと（評価を 10 に近づけるために）

波佐まるごと博物館のガイド付きモデル・コース 6 コースを全国に発信して、来町者を増加させるよう HP「波佐ネット通信」で引き続き PR を図っていきたい。





# 事業報告書

(課題解決特別事業)

申請団体名：小国まちづくり委員会

〔令和 6 年度採択分〕

## 令和 6 年度浜田市まちづくり総合交付金 課題解決特別事業 事業報告書

事業名 旧小国小学校体育館通路（渡り廊下）の改善整備

事業費（予算額）：346,900 円（まちづくり総合交付金課題解決特別事業：346,900 円）

P

### ・事業の目的（解決を目指す課題）や見込まれる成果

旧小国小学校体育館は、これまで地域の各種行事で活用する際、隣接する小国まちづくりセンターから備品等を運搬する必要があったため、段差のある連絡通路（渡り廊下）では机や椅子、放送設備など重量のある備品の運搬が課題であり、両会場を往来する事業では高齢者にとって階段を使った移動はとても不便でした。

渡り廊下をスロープに改修することで、小国まちづくり委員会等が行う活動の利便性向上、安全面の確保が図られるため、これまでの活動を安心して継続することができます。

D

### ・事業の概要

旧小国小学校体育館渡り廊下の階段をスロープに整備する。

C

### 課題の解決度合（10 段階の自己評価）

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |   |  |
|--|--|--|--|--|--|--|--|--|---|--|
|  |  |  |  |  |  |  |  |  | ○ |  |
|--|--|--|--|--|--|--|--|--|---|--|

#### ・上記評価の理由

まちづくりセンターと体育館の往来に階段が無くなったことから、利用者の利便性も向上し、住民の多くの方が喜んでくださいました。

少し傾斜があるため、滑らないよう追加で滑り止めシートを張り付けた。

A

### 事業の継続、発展に向けて今後取り組むこと（評価を 10 に近づけるために）

全ての壁がふさがっていない形状であることから、雨や雪が入る可能性も考慮し、今後も安心して利用できるよう 1 年を通して経過を観察します。

両会場を活用した新しい事業を展開し施設の有効活用を図ります。





# 事業報告書

(課題解決特別事業)

申請団体名：今市地区まちづくり推進委員会

〔令和 6 年度採択分〕

令和 6 年度浜田市まちづくり総合交付金 課題解決特別事業 事業報告書

事業名

四つ葉ふれあい農園（市民農園）

事業費（予算額）：516,088 円（まちづくり総合交付金課題解決特別事業：500,000 円）

P

事業の目的（解決を目指す課題）や見込まれる成果

地域住民から「家庭菜園ができる畑を貸してほしい」という要望に応えるため、休耕田を借上げ 11 区画に分割し家庭菜園用の畑として貸し出す。見込まれる効果は、休耕田の有効活用と利用者同士や地域住民との交流で地域全体の活性化につながる。

D

事業の概要

- 鳥獣防護柵の設置。
- 地域内全戸配布のチラシ（2 回発行）や地域 SNS「いちのいち」で利用者を公募。
- 水田を畑として利用するための排水工事を行い、1 区画約 36 m<sup>2</sup>で 11 区画に分割。
- 農機や農具等が保管できる物置を設置。
- 共同利用の管理機の購入。
- 水やり用のタンクの設置。
- 利用開始後、野菜作りに詳しい地域住民による勉強会を定期的を開催していく。
- 周囲の草刈りや鳥獣防護柵の点検等を利用者の交流として実施する。

C

課題の解決度合（10 段階の自己評価）

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

|  |  |  |  |  |  |  |  |   |  |  |
|--|--|--|--|--|--|--|--|---|--|--|
|  |  |  |  |  |  |  |  | ○ |  |  |
|--|--|--|--|--|--|--|--|---|--|--|

・上記評価の理由

R7.3.31 時点で 4 区画空の空きがあり、利用者募集の周知が不十分と考えられる。

A

事業の継続、発展に向けて今後取り組む

こと（評価を 10 に近づけるために）

引き続き、地域 SNS 等で利用者の募集を行う。他のイベント等で集客の際は、募集チラシを配布する。



**事業報告書**  
(課題解決特別事業)

申請団体名：岡見地区まちづくり推進委員会

[ 令和4年度採択分 ]

**令和6年度浜田市まちづくり総合交付金 課題解決特別事業 事業報告書**

事業名

**岡見マップ作成事業**

事業費（予算額）： 20,240円（まちづくり総合交付金課題解決特別事業：11,520円）

P

事業の目的（解決を目指す課題）や見込まれる成果

地域住民に、岡見の良さを再発見してもらおうと共に、地域外の人にPRできるツールを作成することで、岡の魅力を共有しUIターンなどの定住に繋げる。

D

事業の概要

マップを利用したウォーキング（岡見まちづくりセンター「かるたウォーク」と合同開催）を開催。今回は須津青浦地区、中国電力火力発電所周辺を岡見マップを見ながらウォーキングした。

年間を通して岡見MAPに掲載されているスポットのフォトコンテストを開催し、事前に審査を行い、年度末に行われるセンターまつりにて展示する。

C

課題の解決度合（10段階の自己評価）

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10



・上記評価の理由

MAPを見ることで、岡見の良さを再確認することに繋がった。

岡見かるたウォーク、MAPウォークの開催時にフォトコンテストへの参加を促したが、目標数には達さなかった。

A

岡見MAPの作成は終了したので、来年度以降はどのように活かしていくか計画を立てる。フォトコンテストも継続事業となったので、参加者をどのように増やすのかももう一度話し合いを行うこととする。

岡見のMAPの普及について、学校や、保育所へどのように利用できるのか相談を行う。



フォトコンテスト優秀作品

